

当社が将来、城端線・氷見線の経営を引き継ぐ場合の条件

- (1) 現路線とは区分経理した上で、現路線の経営に支障が出ないよう、城端線・氷見線の赤字補てんの保証を行うこと
- (2) 運転士や施設、電気、車両など技術系の要員を確保するため、JR西日本の社員が一定期間、当社に出向していただくこと
- (3) 経営移管前に、JR西日本において、レール、まくら木、分岐器、道床などの本格的な再整備を行っていただくこと
- (4) 指令や駅運転のための設備整備、券売機の整備も経営移管前に行う必要があり、当社がその整備を行う場合は必要な財源を確保していただくこと
- (5) 仮に両線の直通化を行う場合、連動信号の再整備など高度な知識・技能が必要となり、当社は技術的にも人間的にも能力不足であることから、JR西日本の全面的な支援が不可欠であること